

授業科目 (科目ID)	自動車検査実習 c00011		担当教員 (実務経験)	酒井 直基 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・1サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	43回	時間数 43時間
授業目的	自動車の安全性の確保、公害防止、環境への負荷低減など、自動車を取り巻く環境は益々厳しくなっております。身近な定期点検を実地で学習することにより、さらに自動車を理解できるようになります。また、定期点検整備の重要性を正しく理解することが大切です。				
到達目標	日常点検・1年点検が出来る。ディスクブレーキ・ドラムブレーキの分解・組立が出来る。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	小テスト、レポート、サイクル試験、授業姿勢(積極性)、出席状況など総合的に判断し、評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	%			
履修上の留意事項	法令教材2年度版、自動車定期点検整備の手引、各メーカーの修理書、定期点検記録簿、プリント教材などで法令の目的と遵守、定期点検整備の必要性、重要性を学習する。車(車検対象車及び1年定期点検対象車)、自動車を取りまく環境、法的な背景をしっかりと理解して業界の役割を認識し、適応してもらうことが大切です。運輸支局の車検場には常に業界の人達の厳しい目があることを意識してください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	安全作業、定期点検(日常点検)(1)	オートリフト、ガレージ・ジャッキの操作と注意事項		
	2	安全作業、定期点検(日常点検)(2)	オートリフト、ガレージ・ジャッキの操作と注意事項		
	3	安全作業、定期点検(日常点検)(3)	オートリフト、ガレージ・ジャッキの操作と注意事項		
	4	安全作業、定期点検(日常点検)(4)	日常点検(別表2)		
	5	安全作業、定期点検(日常点検)(5)	日常点検(別表2)		
	6	安全作業、定期点検(日常点検)(6)	日常点検(別表2)		
	7	安全作業、定期点検(日常点検)(7)	日常点検(別表2)		
	8	安全作業、定期点検(日常点検)(8)	安全な作業とは(災害事例集)		
	9	安全作業、定期点検(日常点検)(9)	安全な作業とは(災害事例集)		
	10	安全作業、定期点検(日常点検)(10)	安全な作業とは(災害事例集)		
	11	安全作業、定期点検(日常点検)(11)	安全な作業とは(災害事例集)		
	12	安全作業、定期点検(日常点検)(12)	安全な作業とは(災害事例集)		
	13	安全作業、定期点検(日常点検)(13)	安全な作業とは(災害事例集)		
	14	安全作業、定期点検(日常点検)(14)	安全な作業とは(災害事例集)		
15	定期点検整備(1)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)			

履修主題・履修内容	16	定期点検整備(2)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	17	定期点検整備(3)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	18	定期点検整備(4)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	19	定期点検整備(5)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	20	定期点検整備(6)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	21	定期点検整備(7)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	22	定期点検整備(8)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	23	定期点検整備(9)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	24	定期点検整備(10)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	25	定期点検整備(11)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	26	定期点検整備(12)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	27	定期点検整備(13)	定期点検整備記録(1年点検、別表6)
	28	定期点検整備(14)	ブレーキの分解点検整備
	29	定期点検整備(15)	ブレーキの分解点検整備
	30	定期点検整備(16)	ブレーキの分解点検整備
	31	定期点検整備(17)	ブレーキの分解点検整備
	32	定期点検整備(18)	ブレーキの分解点検整備
	33	定期点検整備(19)	ブレーキの分解点検整備
	34	定期点検整備(20)	ブレーキの分解点検整備
	35	定期点検整備(21)	ブレーキの分解点検整備
	36	定期点検整備(22)	ブレーキの分解点検整備
	37	定期点検整備(23)	ブレーキの分解点検整備
	38	定期点検整備(24)	ブレーキの分解点検整備
	39	定期点検整備(25)	ブレーキの分解点検整備
	40	サイクル試験	学科試験
	41	サイクル試験	学科試験
	42	サイクル試験	実技試験
	43	サイクル試験	実技試験

授業科目 (科目ID)	自動車検査実習 c00011		担当教員 (実務経験)	酒井 直基 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・2サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	定期点検整備の技術を習得することにより、安全作業、基本作業について学習する。さらに各種検査機器で専門的な点検、測定作業を習得する。				
到達目標	分解整備を理解し分解整備記録簿が書ける。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	サイクル試験、出席状況、受講態度等を考慮する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	法令教材30年度版、自動車定期点検整備の手引、各メーカーの修理書、定期点検記録簿、自動車の検査基準、プリント教材、現車(車検対象車及び1年定期点検対象車)、ケガ、災害防止は何事にも優先することを認識してください。作業効率、災害防止は作業環境保持が基本です。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	自動車の法規制の目的(1)	分解整備の定義		
	2	自動車の法規制の目的(2)	分解整備の定義		
	3	自動車の法規制の目的(3)	分解整備の定義		
	4	自動車の法規制の目的(4)	道路運送車両の保安基準		
	5	自動車の法規制の目的(5)	道路運送車両の保安基準		
	6	自動車の法規制の目的(6)	道路運送車両の保安基準		
	7	自動車の法規制の目的(7)	道路運送車両の保安基準		
	8	分解整備実習(1)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	9	分解整備実習(2)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	10	分解整備実習(3)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	11	分解整備実習(4)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	12	分解整備実習(5)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	13	分解整備実習(6)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
	14	分解整備実習(7)	ブレーキ装置分解点検組立作業		
15	測定作業実習(1)	近接排気騒音			

履修主題・履修内容	16	測定作業実習(2)	近接排気騒音
	17	測定作業実習(3)	警告器
	18	測定作業実習(4)	ディーゼルスモークメータ
	19	測定作業実習(5)	ディーゼルスモークメータ
	20	測定作業実習(6)	5ガステスタ
	21	測定作業実習(7)	5ガステスタ
	22	自動車検査実習(1)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	23	自動車検査実習(2)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	24	自動車検査実習(3)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	25	自動車検査実習(4)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	26	自動車検査実習(5)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	27	自動車検査実習(6)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	28	自動車検査実習(7)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	29	自動車検査実習(8)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	30	自動車検査実習(9)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	31	自動車検査実習(10)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	32	自動車検査実習(11)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	33	自動車検査実習(12)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	34	自動車検査実習(13)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	35	自動車検査実習(14)	分解整備記録簿による点検、分解整備作業、点検記録簿作成
	36	自動車検査実習(15)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	37	自動車検査実習(16)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	38	自動車検査実習(17)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	39	自動車検査実習(18)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	40	自動車検査実習(19)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	41	自動車検査実習(20)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	42	自動車検査実習(21)	検査テストによる現車測定、同一性の確認、分解前後のテスターの値
	43	サイクル試験	検査場持込及び見学、受検実習、判定作業、納車準備車室内外清掃
	44	サイクル試験	検査場持込及び見学、受検実習、判定作業、納車準備車室内外清掃
	45	サイクル試験	検査場持込及び見学、受検実習、判定作業、納車準備車室内外清掃
46	サイクル試験	検査場持込及び見学、受検実習、判定作業、納車準備車室内外清掃	

授業科目 (科目ID)	自動車検査実習 c00011		担当教員 (実務経験)	酒井 直基 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・4サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	自動車の安全性の確保、公害防止、環境への負荷低減など、自動車を取り巻く環境は益々厳しくなっております。身近な車検制度を実地で学習することにより、さらに自動車を理解できるようになります。また、定期点検整備の重要性を正しく理解することが大切です。				
到達目標	2年点検が出来る。点検整備記録簿が書ける。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	サイクル試験、授業姿勢(積極性)、出席状況など総合的に判断し、評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	%			
履修上の留意事項	法令教材令和2年度版、自動車定期点検整備の手引、各メーカーの修理書、定期点検記録簿、プリント教材などで法令の目的と遵守、定期点検整備の必要性、重要性を学習する。車(車検対象車及び1年定期点検対象車)、自動車を取りまく環境、法的な背景をしっかりと理解して業界の役割を認識し、適応してもらうことが大切です。運輸支局の車検場には常に業界の人達の厳しい目があることを意識してください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	定期点検整備(1)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	2	定期点検整備(2)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	3	定期点検整備(3)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	4	定期点検整備(4)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	5	定期点検整備(5)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	6	定期点検整備(6)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	7	定期点検整備(7)	定期点検整備記録(2年点検、別表6)、受入点検、検査機器による点検		
	8	定期点検整備(8)	分解整備及び完成検査		
	9	定期点検整備(9)	分解整備及び完成検査		
	10	定期点検整備(10)	分解整備及び完成検査		
	11	定期点検整備(11)	分解整備及び完成検査		
	12	定期点検整備(12)	分解整備及び完成検査		
	13	定期点検整備(13)	分解整備及び完成検査		
	14	定期点検整備(14)	分解整備及び完成検査		
15	定期点検整備(15)	検査書類の作成			

履修主題・履修内容	16	定期点検整備(16)	検査書類の作成
	17	定期点検整備(17)	検査書類の作成
	18	定期点検整備(18)	検査書類の作成
	19	定期点検整備(19)	検査書類の作成
	20	定期点検整備(20)	検査書類の作成
	21	定期点検整備(21)	検査書類の作成
	22	検査機器による点検(1)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	23	検査機器による点検(2)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	24	検査機器による点検(3)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	25	検査機器による点検(4)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	26	検査機器による点検(5)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	27	検査機器による点検(6)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	28	検査機器による点検(7)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	29	検査機器による点検(8)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	30	検査機器による点検(9)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	31	検査機器による点検(10)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	32	検査機器による点検(11)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	33	検査機器による点検(12)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	34	検査機器による点検(13)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	35	検査機器による点検(14)	サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータ、ライト、CO・HCテスト、黒煙 各テスト取扱い、測定方法
	36	検査機器による点検(15)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	37	検査機器による点検(16)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	38	検査機器による点検(17)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	39	検査機器による点検(18)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	40	検査機器による点検(19)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	41	検査機器による点検(20)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	42	検査機器による点検(21)	制動力の計算と保安基準適合の判定
	43	サイクル試験	学科試験
	44	サイクル試験	実技試験
	45	サイクル試験	実技試験
	46	サイクル試験	学科試験

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	自動車工学Ⅱ c00009		担当教員 (実務経験)	小笠原 悟・道場 祐樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回50分)	66回	時間数 66時間
授業目的	自動車の基礎の学習は習得しているので、構造・機能の高度な技術知識について理解を深めさせる。				
到達目標	自動車の構造、機能が説明でき、整備士過去問題が答えられる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、出席状況、ファイル提出、小テスト等受講における意欲及び態度などを総合評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	教科書とそれに附帯するプリントを作り、配布して理解の徹底を図る。又、PCを活用してまとめを板書する。、履修主題が1項目終わるごとに小テストを行います。又、ノート提出をするのでキチンと作成してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	製図	概要 図面の名称 線と文字 演習ノート		
	2	製図	図形の表し方 図面の見方 演習ノート		
	3	製図	面の肌の図示方法 演習ノート		
	4	製図	寸法の記入 演習ノート		
	5	製図	電気製図 電気記号 演習ノート		
	6	製図	機械要素の製図 ボルト、ナット 演習ノート		
	7	製図	演習ノート		
	8	製図	演習ノート		
	9	製図	演習ノート		
	10	製図	演習ノート		
	11	自動車の性能	走行抵抗と駆動力 走行抵抗		
	12	自動車の性能	走行抵抗と駆動力 走行抵抗		
	13	自動車の性能	加速力 最高速度と総減速比		
	14	自動車の性能	加速力 最高速度と総減速比		
15	自動車の性能	走行性能曲線図 駆動力曲線			

履修主題・履修内容	16	自動車の性能	走行性能曲線図 駆動力曲線
	17	自動車の性能	エンジン性能曲線図
	18	自動車の性能	エンジン性能曲線図
	19	動力伝達装置	クラッチの伝達能力
	20	動力伝達装置	クラッチの伝達能力
	21	動力伝達装置	トルクコンバータ性能曲線図
	22	動力伝達装置	トルクコンバータ性能曲線図 練習問題
	23	動力伝達装置	トルクコンバータ性能曲線図 練習問題
	24	動力伝達装置	遊星歯車の変速比
	25	動力伝達装置	遊星歯車の変速比 練習問題
	26	動力伝達装置	遊星歯車の変速比 練習問題
	27	サスペンション	サスペンションの性能 ボデー振動
	28	サスペンション	サスペンションの性能 ボデー振動 練習問題
	29	サスペンション	サスペンションの性能 ボデー振動 練習問題
	30	総合問題	整備士過去問題実施
	31	総合問題	整備士過去問題実施
	32	総合問題	整備士過去問題実施
	33	中間試験	
	34	ブレーキ装置	制動距離の求め方
	35	ブレーキ装置	アンチロックブレーキの構造、機能 トラクションコントロール
	36	ブレーキ装置	トラクションコントロール
	37	ブレーキ装置	トラクションコントロール
	38	ガソリンエンジン	内燃機関のサイクル
	39	ガソリンエンジン	熱効率 平均有効圧力 仕事率
	40	ガソリンエンジン	熱効率 平均有効圧力 仕事率 練習問題
	41	ガソリンエンジン	熱効率 平均有効圧力 仕事率 練習問題
	42	ガソリンエンジン	ノッキング 排出ガス
	43	ガソリンエンジン	ノッキング 排出ガス
	44	ディーゼルエンジン	ディーゼルエンジンの性能、燃焼
	45	ディーゼルエンジン	ディーゼルエンジンの燃焼室、排ガスとディーゼルノック

履修主題・履修内容	46	ジーゼルエンジン	排ガスとジーゼルロック 練習問題
	47	ジーゼルエンジン	排ガスとジーゼルロック 練習問題
	48	ボデー電装	ゲージおよびセンサ
	49	ボデー電装	自己診断システム
	50	ボデー電装	自己診断システム
	51	ボデー電装	多重通信システム
	52	ボデー電装	多重通信システム 練習問題
	53	ボデー電装	多重通信システム 練習問題
	54	ボデー電装	オートエアコン
	55	ボデー電装	オートエアコン 練習問題
	56	ボデー電装	オートエアコン 練習問題
	57	衝突安全	交通事故の状況 車両の変形解析 SRSエアバック
	58	衝突安全	交通事故の状況 車両の変形解析 SRSエアバック
	59	自動車のリサイクル技術	リサイクルの流れ リサイクル法
	60	自動車のリサイクル技術	リサイクルの流れ リサイクル法
	61	自動車のリサイクル技術	リサイクルの流れ リサイクル法
	62	総合問題整備士過去問題実施	整備士過去問題実施
	63	総合問題整備士過去問題実施	整備士過去問題実施
	64	総合問題整備士過去問題実施	整備士過去問題実施
	65	総合問題整備士過去問題実施	整備士過去問題実施
66	定期試験		

授業科目 (科目ID)	車体工作実習 c00012		担当教員 (実務経験)	高貝 良浩 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・1サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	車体修理の基礎技術を理解修得する。(溶接・板金作業)				
到達目標	各種溶接が出来る。ハンマリングが出来る。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	出席日数、受講態度などを総合評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	20%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	損害保険募集人テキスト、プリント教材を中心に実習を進めていく。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	各溶接作業(1)	酸素アセチレンガス溶接機取り扱いについて		
	2	各溶接作業(2)	酸素アセチレンガス溶接機取り扱いについて		
	3	各溶接作業(3)	酸素アセチレンガス溶接作業		
	4	各溶接作業(4)	酸素アセチレンガス溶接作業		
	5	各溶接作業(5)	酸素アセチレンガス溶接作業		
	6	各溶接作業(6)	酸素アセチレンガス溶接作業		
	7	各溶接作業(7)	酸素アセチレンガス溶接作業		
	8	各溶接作業(8)	MIG溶接機取り扱いについて		
	9	各溶接作業(9)	MIG溶接機取り扱いについて		
	10	各溶接作業(10)	MIG溶接作業		
	11	各溶接作業(11)	MIG溶接作業		
	12	各溶接作業(12)	MIG溶接作業		
	13	各溶接作業(13)	MIG溶接作業		
	14	各溶接作業(14)	MIG溶接作業		
15	各溶接作業(15)	ろう付け作業			

履修主題・履修内容	16	各溶接作業(16)	ろう付け作業
	17	各溶接作業(17)	ろう付け作業
	18	各溶接作業(18)	ろう付け作業
	19	各溶接作業(19)	ろう付け作業
	20	ハンマリング作業(1)	ハンマリング作業の説明
	21	ハンマリング作業(2)	ハンマリング作業の説明
	22	ハンマリング作業(3)	ハンマリング作業
	23	ハンマリング作業(4)	ハンマリング作業
	24	ハンマリング作業(5)	ハンマリング作業
	25	ハンマリング作業(6)	ハンマリング作業
	26	ハンマリング作業(7)	ハンマリング作業
	27	ハンマリング作業(8)	ハンマリング作業
	28	ハンマリング作業(9)	ハンマリング作業
	29	各溶接・ハンマリング作業(1)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	30	各溶接・ハンマリング作業(2)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	31	各溶接・ハンマリング作業(3)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	32	各溶接・ハンマリング作業(4)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	33	各溶接・ハンマリング作業(5)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	34	各溶接・ハンマリング作業(6)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	35	各溶接・ハンマリング作業(7)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	36	各溶接・ハンマリング作業(8)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	37	各溶接・ハンマリング作業(9)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	38	各溶接・ハンマリング作業(10)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	39	各溶接・ハンマリング作業(11)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	40	各溶接・ハンマリング作業(12)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	41	各溶接・ハンマリング作業(13)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	42	各溶接・ハンマリング作業(14)	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	43	サイクル試験	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	44	サイクル試験	各種溶接・ハンマリングの課題作品作成
	45	サイクル試験	学科試験
	46	サイクル試験	学科試験

授業科目 (科目ID)	車体工作実習 c00012		担当教員 (実務経験)	高貝 良浩 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・2サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	自動車の構造・機能、部品名称、材料などについて理解する。自動車の強度・力学を理解する。荷重分布の計算法。製図についての基礎を学ぶ。				
到達目標	自動車の構造・機能、部品名称、材料を説明できる。製図が正しく書ける。				
テキスト・ 参考図書等	製図ノート				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	出席日数、受講態度、製作品の完成度などを総合評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	20%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	車体整備の教科書、プリント教材を中心に実習を進めていく。、多様化するユーザーニーズに対応するため車体整備を勉強します。部品交換作業は比較的容易に出来ますが、修理は更に知識・技術が必要です。就職後、即戦力として活躍出来るよう修理技術を身に付けて下さい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	車体の構造と機能、製図(1)	自動車の強度・力学		
	2	車体の構造と機能、製図(2)	自動車の強度・力学		
	3	車体の構造と機能、製図(3)	自動車の強度・力学		
	4	車体の構造と機能、製図(4)	自動車の強度・力学		
	5	車体の構造と機能、製図(5)	製図演習		
	6	車体の構造と機能、製図(6)	製図演習		
	7	車体の構造と機能、製図(7)	製図演習		
	8	車体の構造と機能、製図(8)	ラーメン構造 FR車のフロントボデーについて		
	9	車体の構造と機能、製図(9)	ラーメン構造 FR車のフロントボデーについて		
	10	車体の構造と機能、製図(10)	ラーメン構造 FR車のフロントボデーについて		
	11	車体の構造と機能、製図(11)	ラーメン構造 FR車のフロントボデーについて		
	12	車体の構造と機能、製図(12)	製図演習		
	13	車体の構造と機能、製図(13)	製図演習		
	14	車体の構造と機能、製図(14)	製図演習		
15	車体の構造と機能、製図(15)	FF車のフロントボデー、サイドボデー、メインフロア			

履修主題・履修内容	16	車体の構造と機能、製図(16)	FF車のフロントボデー、サイドボデー、メインフロア
	17	車体の構造と機能、製図(17)	FF車のフロントボデー、サイドボデー、メインフロア
	18	車体の構造と機能、製図(18)	FF車のフロントボデー、サイドボデー、メインフロア
	19	車体の構造と機能、製図(19)	製図演習
	20	車体の構造と機能、製図(20)	製図演習
	21	車体の構造と機能、製図(21)	製図演習
	22	車体の構造と機能、製図(22)	エンジン支持方式
	23	車体の構造と機能、製図(23)	実車分解(外板)
	24	車体の構造と機能、製図(24)	実車分解(外板)
	25	車体の構造と機能、製図(25)	実車分解(外板)
	26	車体の構造と機能、製図(26)	実車分解(外板)
	27	車体の構造と機能、製図(27)	製図演習
	28	車体の構造と機能、製図(28)	製図演習
	29	車体の構造と機能、製図(29)	ボデーパネルの名称確認
	30	車体の構造と機能、製図(30)	ボデーパネルの名称確認
	31	車体の構造と機能、製図(31)	ボデーパネルの名称確認
	32	車体の構造と機能、製図(32)	ボデーパネルの名称確認
	33	車体の構造と機能、製図(33)	ボデーパネルの名称確認
	34	車体の構造と機能、製図(34)	製図演習
	35	車体の構造と機能、製図(35)	製図演習
	36	車体の構造と機能、製図(36)	実車組立
	37	車体の構造と機能、製図(37)	実車組立
	38	車体の構造と機能、製図(38)	実車組立
	39	車体の構造と機能、製図(39)	実車組立
	40	車体の構造と機能、製図(40)	製図演習
	41	車体の構造と機能、製図(41)	製図演習
	42	車体の構造と機能、製図(42)	製図演習
	43	サイクル試験	学科試験
	44	サイクル試験	学科試験
	45	サイクル試験	実施試験
	46	サイクル試験	実施試験

授業科目 (科目ID)	車体工作実習 c00012		担当教員 (実務経験)	高貝 良浩 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・3サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	43回	時間数 43時間
授業目的	車体修理の基礎技術を理解習得する。(板金作業・塗装作業)				
到達目標	パテ作業が出来る。塗装、磨きが出来る。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	出席日数、受講態度、製作品の完成度などを総合評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	20%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	車体整備の教科書、プリント教材を中心に実習を進めていく。多様化するユーザーニーズに対応するため車体整備を勉強します。部品交換作業は比較的容易に出来ますが、修理は更に知識・技術が必要です。就職後、即戦力として活躍出来るよう修理技術を身に付けて下さい。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	2	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	3	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	4	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	5	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	6	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	7	パテ整形	・下地処理・絞り作業・パテの種類、パテの練り方、パテ付け・中間パテのヘラ付け、中間パテの研磨		
	8	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	9	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	10	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	11	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	12	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	13	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
	14	パテ整形	・ポリエステルパテのヘラ付け、・ポリエステルパテの研磨(面出し)		
15	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる			

履修主題・履修内容	16	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	17	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	18	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	19	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	20	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	21	ブラサフ工程	・ポリエステルパテの研磨(面出し)・水を使用し、スプレーガンの取り扱いに慣れる
	22	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	23	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	24	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	25	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	26	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	27	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	28	ブラサフ工程	・ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装の目的、・ブラサフ塗装完了・ブラサフ水とぎ
	29	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	30	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	31	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	32	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	33	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	34	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	35	上塗り工程	・塗装の欠陥、上塗り(トップコート)工程について、・スポットパテ付け、下地処理終了・上塗り
	36	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	37	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	38	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	39	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	40	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	41	磨き工程	・磨き工程、ポリッシャーの取り扱い、コンパウンドの種類。、・上塗り後の塗肌の修正、水研ぎ、磨き仕上げ、作品完成
	42	サイクル試験	・作品を観察しながらレポート提出
	43	サイクル試験	学科試験

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	電気装置実習Ⅲ c00009		担当教員 (実務経験)	瀧本 真晶 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・1サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	43回	時間数 43時間
授業目的	電子制御で動作する各装置について、電気、電子デバイスの基本的な性質、特性を理解し実験用電気・電子回路及び、ベンチ・エンジン等での測定、観測方法、テストの取り扱いを修得する。				
到達目標	サーキットテスタ・オシロスコープを使いエンジンのデータが取れる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	出席状況、サイクル試験結果、レポート提出、授業態度、プリント教材の提出により総合的に評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	プリント教材を主体に、2級ガソリン自動車・3級ガソリンエンジンテキストを使用する。、電気、電子デバイスを使用した基本的な回路や、回路図を自らで作成し実験実習を行う。、デジタルテスタ、オシロスコープ等の機器類の取り扱いを行う。、基礎的な復習を兼ねる内容については、電子ブロックを使用し理解を深める。電子制御の基本は電気ですから、テスタ等の使用法を身につけてもらい段階的に車両点検が出来る様に授業を展開します。電気の性質を目で見えるようにすることで、電子制御も理解しやすくなります。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	電子制御装置、燃料噴射制御(1)	電子制御装置の概要		
	2	電子制御装置、燃料噴射制御(2)	OBDについて		
	3	電子制御装置、燃料噴射制御(3)	OBDについて		
	4	電子制御装置、燃料噴射制御(4)	電子制御装置の構造・機能(センサ)		
	5	電子制御装置、燃料噴射制御(5)	電子制御装置の構造・機能(センサ)		
	6	電子制御装置、燃料噴射制御(6)	電子制御装置の構造・機能(センサ)		
	7	電子制御装置、燃料噴射制御(7)	電子制御装置の構造・機能(センサ)		
	8	電子制御装置、燃料噴射制御(8)	バキュームセンサの構造と働き		
	9	電子制御装置、燃料噴射制御(9)	エアフロメータの構造と働き		
	10	電子制御装置、燃料噴射制御(10)	クランク角センサ、カム角センサと働き		
	11	電子制御装置、燃料噴射制御(11)	水温、吸気温の構造と働き		
	12	電子制御装置、燃料噴射制御(12)	スロットルポジションセンサの構造と働き		
	13	電子制御装置、燃料噴射制御(13)	ノックセンサの構造と働き		
	14	電子制御装置、燃料噴射制御(14)	O2センサの仕組みと働き		
15	エンジン点検(1)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検			

履修主題・履修内容	16	エンジン点検(2)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	17	エンジン点検(3)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	18	エンジン点検(4)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	19	エンジン点検(5)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	20	エンジン点検(6)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	21	エンジン点検(7)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	22	エンジン点検(8)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	23	エンジン点検(9)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	24	エンジン点検(10)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	25	エンジン点検(11)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	26	エンジン点検(12)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	27	エンジン点検(13)	サーキットテスタによる電圧点検、各センサの単体点検
	28	オシロスコープの操作(1)	オシロスコープの操作方法 サークット・テスタで測定できるものとオシロスコープでなければ測定できないものについて
	29	オシロスコープの操作(2)	オシロスコープの操作方法 サークット・テスタで測定できるものとオシロスコープでなければ測定できないものについて
	30	オシロスコープの操作(3)	オシロスコープによる波形の表示(回転信号、交流電圧)交流波形について
	31	オシロスコープの操作(4)	オシロスコープによる波形の表示(回転信号、交流電圧)交流波形について
	32	オシロスコープの操作(5)	オシロスコープによる波形の表示(回転信号、交流電圧)交流波形について
	33	オシロスコープの操作(6)	オシロスコープによる波形の表示(回転信号、交流電圧)交流波形について
	34	電子制御装置、燃料噴射制御(1)	インジェクタの構造・機能
	35	電子制御装置、燃料噴射制御(2)	オシロスコープによる噴射波形の観測、走行状態、エンジン負荷と燃料噴射制御
	36	電子制御装置、燃料噴射制御(3)	オシロスコープによる噴射波形の観測、走行状態、エンジン負荷と燃料噴射制御
	37	電子制御装置、燃料噴射制御(4)	オシロスコープによる噴射波形の観測、走行状態、エンジン負荷と燃料噴射制御
	38	電子制御装置、燃料噴射制御(5)	オシロスコープによる噴射波形の観測、走行状態、エンジン負荷と燃料噴射制御
	39	電子制御装置、燃料噴射制御(6)	オシロスコープによる噴射波形の観測、走行状態、エンジン負荷と燃料噴射制御
	40	サイクル試験	学科試験
	41	サイクル試験	学科試験
	42	サイクル試験	実技試験
	43	サイクル試験	実技試験

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	電気装置実習Ⅲ c00009		担当教員 (実務経験)	瀧本 真晶 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・2サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	エンジンの電子制御に係るセンサ、アクチュエータの構造・作動を理解し、車上点検の方法を修得する。外部診断器等を使用した、故障箇所の絞込みを考察する。エンジン制御各種配線図、回路図の基本的な取扱いを学習し、実車への応用知識に発展する。				
到達目標	エンジンの電子制御に係るセンサ、アクチュエータを外部診断器等を使用し故障箇所の絞込みが出来る。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	サイクル試験、レポート、小テスト、受講姿勢(積極性)、出席状況など総合的に評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	二級ガソリン自動車エンジン編 三級自動車ガソリンエンジン、二級ジーゼル自動車エンジン編 三級自動車ジーゼルエンジン、プリント教材 メーカー修理書・回路図・配線図 ベンチ教材、故障原因探求を通じ、センサ、アクチュエータ等の構造上発生する現象を実習で確認します。基礎的な電気知識から電子制御にいたるまでを学習します。各種修理書・配線図の取扱い方法及び、電気計測機器類の使用法を修得し、2級整備士に求められる応用力を身に付けて下さい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	電子制御装置、燃料噴射制御	噴射量制御における故障		
	2	電子制御装置、燃料噴射制御	噴射量制御における故障		
	3	電子制御装置、燃料噴射制御	噴射量制御における故障		
	4	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	5	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	6	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	7	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	8	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	9	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	10	電子制御装置、燃料噴射制御	不具合現象についての診断		
	11	電子制御装置、燃料噴射制御	空燃比フィードバック補正について		
	12	電子制御装置、燃料噴射制御	空燃比フィードバック補正について		
	13	電子制御装置、燃料噴射制御	空燃比フィードバック補正について		
	14	電子制御装置、燃料噴射制御	空燃比フィードバック補正について		
15	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める			

履修主題・履修内容	16	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	17	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	18	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	19	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	20	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	21	オシロスコープによるエンジンの点検	クランク角センサ、ISCV、点火一次波形等の観測、クランク角センサの信号波形から、エンジン回転速度を求める
	22	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	23	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	24	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	25	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	26	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	27	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	28	オシロスコープによるエンジンの点検	ISCVの構造、デューティ制御の方法、オシロスコープによる信号波形観測
	29	点火時期制御	サーキットテスタによる点火系統の点検
	30	点火時期制御	サーキットテスタによる点火系統の点検
	31	点火時期制御	点火指示・確認信号波形観測
	32	点火時期制御	点火指示・確認信号波形観測
	33	点火時期制御	点火指示・確認信号波形観測
	34	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	35	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	36	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	37	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	38	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	39	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	40	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	41	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	42	点火時期制御	固定進角・基本進角・補正進角、点火時期制御における故障、不具合現象についての診断
	43	サイクル試験	学科試験
	44	サイクル試験	学科試験
	45	サイクル試験	実技試験
	46	サイクル試験	実技試験

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	電気装置実習Ⅲ c00009		担当教員 (実務経験)	瀧本 真晶 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・3サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	オート・エアコンの構造・機能を理解し、故障探求の進め方について学ぶ。電気装置の配線の構造を学ぶ。				
到達目標	オート・エアコンの構造・機能を説明でき、故障探求が出来る。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	出席日数、サイクル試験結果、授業態度、プリント教材の提出により総合的に評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	プリント教材を主体に、2級ンヤン自動車テキストを使用する。、プリントの各種配線図、回路図への書き込みを行い、電圧の発生箇所、電流の流れる経路を把握できる内容とする。基礎的な回路盤を使用した電気の基礎を盛り込み、電子制御への応用を確認する。、実作業に準ずる故障原因探求を通じ、センサ、アクチュエータ等の構造上から起こりうる現象を実験実習で体験します。基礎的な電気の知識から電子制御にいたるまでを学習します。毎時間の出席が肝要です。自動車の修理書や配線図の確認方法及び、適切な電気計測機器類の使用法を修得し、2級整備士に求められる応用力を身に付けて下さい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(冷凍サイクル)		
	2	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(冷凍サイクル)		
	3	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(冷凍サイクル)		
	4	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(冷凍サイクル)		
	5	エアコン	実車から空調装置の取り外し		
	6	エアコン	実車から空調装置の取り外し		
	7	エアコン	実車から空調装置の取り外し		
	8	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(オート・エアコン)		
	9	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(オート・エアコン)		
	10	エアコン	空調装置の概要、・構造・機能(オート・エアコン)		
	11	エアコン	空調装置の整備、・冷凍回路、空気回路の点検・整備		
	12	エアコン	空調装置の整備、・冷凍回路、空気回路の点検・整備		
	13	エアコン	空調装置の整備、・冷凍回路、空気回路の点検・整備		
	14	エアコン	空調装置の整備、・冷凍回路、空気回路の点検・整備		
15	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検			

履修主題・履修内容	16	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	17	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	18	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	19	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	20	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	21	エアコン	コンプレッサ分解、冷凍サイクルの点検
	22	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	23	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	24	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	25	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	26	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	27	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	28	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	29	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	30	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	31	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	32	エアコン	空調装置の整備、・オート・エアコンの故障診断
	33	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	34	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	35	エアコン	実車に空調装置の取り付け 真空引き
	36	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	37	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	38	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	39	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	40	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	41	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	42	電気装置の配線	CAN通信システム SRSエアバッグ プリテンショナシートベルト、カーナビゲーションシステムの構造機能
	43	サイクル試験	筆記試験
	44	サイクル試験	筆記試験
	45	サイクル試験	実技試験
46	サイクル試験	実技試験	

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	電装品構造Ⅱ c00014	担当教員 (実務経験)	小笠原 悟・道場 祐樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回50分)	33回	時間数	33時間
授業目的	自動車の電装品、電子制御装置について2級ガソリン及びジーゼル自動車整備士に要求される内容を理解する。基礎的な電気、電装品、電子制御装置の知識が修得されていることを前提に、中高度な技術知識を習得する。				
到達目標	基礎的な電気、電装品、電子制御装置を説明できる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、出席状況、ファイル提出、小テスト等受講における意欲及び態度などを総合評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	2級ガソリン自動車、2級ジーゼル自動車、シヤン偏テキストを使用し、補足や参考資料等のプリント教材を配布する。配線図、部品図、演習問題プリントへの書き込み及び要点の整理を板書により行う。テキストの内容については、OHPやプロジェクタによる投影で説明する。進度項目毎に、理解度を確認するための復習テストを行う。、各時間毎の履修と、復習テストの結果から自分の実力を知り、2級整備士レベルの仕上げをしてください。1年時からの履修内容に引き続いて、2級整備士及び最新の整備技術を授業の中で展開します。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	電気装置 半導体	概要、整流回路、定電圧回路、スイッチング増幅回路、発振回路、論理回路		
	2	電気装置 半導体	概要、整流回路、定電圧回路、スイッチング増幅回路、発振回路、論理回路		
	3	電気装置 半導体	概要、整流回路、定電圧回路、スイッチング増幅回路、発振回路、論理回路		
	4	電気装置 バッテリ	概要、機能、整備		
	5	電気装置 バッテリ	整備		
	6	電気装置 バッテリ	整備		
	7	電気装置 充電装置	概要、機能、整備		
	8	電気装置 充電装置	整備		
	9	電気装置 充電装置	整備		
	10	電子制御装置	概要、構造機能(センサ)		
	11	電子制御装置	構造機能(センサ)		
	12	電子制御装置	構造機能(センサ)		
	13	電子制御装置	構造機能(アクチュエータの駆動及びコントロールユニットによる制御)		
	14	電子制御装置	構造機能(アクチュエータの駆動及びコントロールユニットによる制御)		
15	電子制御装置	構造機能(アクチュエータの駆動及びコントロールユニットによる制御)			

履修主題・履修内容	16	電子制御装置	構造機能(アクチュエータの駆動及びコントロールユニットによる制御)
	17	電子制御装置	燃料装置の概要、構造機能
	18	電子制御装置	燃料装置の概要、構造機能
	19	電子制御装置	電子制御式サスペンション、電子制御式パワーステアリング、整備
	20	電子制御装置	電子制御式サスペンション、電子制御式パワーステアリング、整備
	21	電子制御装置	電子制御式サスペンション、電子制御式パワーステアリング、整備
	22	電子制御装置	アンチロックブレーキシステム、トラクションコントロール、整備
	23	電子制御装置	アンチロックブレーキシステム、トラクションコントロール、整備
	24	電気装置 計器・警報装置	概要、構造機能
	25	電気装置 計器・警報装置	整備
	26	電気装置 計器・警報装置	整備
	27	電気装置 空気調和装置	概要、構造機能(冷凍サイクルを構成する機能部品)
	28	電気装置 空気調和装置	概要、構造機能(冷凍サイクルを構成する機能部品)
	29	電気装置 空気調和装置	概要、構造機能(冷凍サイクルを構成する機能部品)
	30	総合問題	整備士過去問題実施
	31	総合問題	整備士過去問題実施
	32	総合問題	整備士過去問題実施
33	中間試験		

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	電装品整備Ⅱ c00015		担当教員 (実務経験)	小笠原 悟・道場 祐樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	講義		授業回数(1回50分)	33回	時間数 33時間
授業目的	自動車の電装品、電子制御装置について2級ガソリン及びジーゼル自動車整備士に要求される内容を理解する。基礎的な電気、電装品、電子制御装置の知識が修得されていることを前提に、中高度な技術知識を習得する。				
到達目標	基礎的な電気、電装品、電子制御装置を説明できる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	90%	定期試験、出席状況、ファイル提出、受講における意欲及び態度などを総合評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	2級ガソリン自動車、2級ジーゼル自動車、シヤン偏テキストを使用し、補足や参考資料等のプリント教材を配布する。、配線図、部品図、演習問題プリントへの書き込み及び要点の整理を板書により行う。テキストの内容については、OHPやプロジェクタによる投影で説明する。、進度項目毎に、理解度を確認するための復習テストを行う。、各時間毎の履修と、復習テストの結果から自分の実力を知り、2級整備士レベルの仕上げをしてください。1年時からの履修内容に引き続いて、2級整備士及び最新の整備技術を授業の中で展開します。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	電気装置 空気調和装置	構造機能(マニュアルエアコン、オートエアコン)、整備		
	2	電気装置 空気調和装置	構造機能(マニュアルエアコン、オートエアコン)、整備		
	3	電気装置 空気調和装置	構造機能(マニュアルエアコン、オートエアコン)、整備		
	4	電気装置 空気調和装置	構造機能(マニュアルエアコン、オートエアコン)、整備		
	5	電気装置 配線・安全装置	概要、構造機能 安全装置及び付属品(SRSエアバッグシステム)		
	6	電気装置 配線・安全装置	概要、構造機能 安全装置及び付属品(SRSエアバッグシステム)		
	7	電気装置 配線・安全装置	安全装置及び付属品(プリテンションシートベルト、カーナビ)		
	8	電気装置 配線・安全装置	安全装置及び付属品(プリテンションシートベルト、カーナビ)		
	9	コモンレール式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能(センサ)		
	10	コモンレール式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能(センサ)		
	11	コモンレール式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能(センサ)		
	12	コモンレール式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能(センサ)		
	13	コモンレール式高圧燃料噴射装置	構造機能(コントロールユニット)		
	14	コモンレール式高圧燃料噴射装置	構造機能(コントロールユニット)		
15	コモンレール式高圧燃料噴射装置	構造機能(コントロールユニット)			

履修主題・履修内容	16	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能
	17	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能
	18	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置	概要、構造機能
	19	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(フューエルポンプ系統の点検)
	20	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(フューエルポンプ系統の点検)
	21	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(フューエルポンプ系統の点検)
	22	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(インジェクタ系統の点検)
	23	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(インジェクタ系統の点検)
	24	エンジンの点検整備	ガソリンエンジンの点検方法(インジェクタ系統の点検)
	25	エンジンの点検整備	回転、スロットルポジション、水温信号系統の点検
	26	エンジンの点検整備	回転、スロットルポジション、水温信号系統の点検
	27	エンジンの点検整備	イグナイタ系統の点検
	28	エンジンの点検整備	イグナイタ系統の点検
	29	エンジンの点検整備	ジーゼルエンジンの点検方法(予熱系統の点検)
	30	エンジンの点検整備	ジーゼルエンジンの点検方法(予熱系統の点検)
	31	整備士過去問題	過去問題実施
	32	整備士過去問題	過去問題実施
	33	定期試験	

授業科目 (科目ID)	二輪自動車実習 c00013		担当教員 (実務経験)	道場 祐樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・4サイクル		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回50分)	46回	時間数 46時間
授業目的	二輪自動車の構造および整備技術に関する事項について学びます。二輪自動車の日常点検や整備作業を通して点検箇所、点検整備要領を習得します。また、故障探求や検査機器の取扱について学習します。				
到達目標	二輪自動車の構造が説明ができ、整備作業が出来る。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	サイクル試験、出席状況、レポートを総合して判断する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	4ストローク二輪エンジンを二輪車から降ろして分解、点検、組付け作業をする。また、ボルトやナットの損傷修復についても学びます。テキスト(3級二輪、2級二輪)メーカーの整備資料、今まで得た整備技術や知識を活かして、しっかり点検、組付けの作業をしてください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(1)	二輪車の取廻し、安全作業に関する注意事項。作業スタンド掛けの方法。		
	2	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(2)	二輪車の取廻し、安全作業に関する注意事項。作業スタンド掛けの方法。		
	3	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(3)	二輪車の取廻し、安全作業に関する注意事項。作業スタンド掛けの方法。		
	4	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(4)	リヤアクスル及びリヤホイール分解、点検、組付け。、シャシの点検調整法、CB400使用		
	5	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(5)	リヤアクスル及びリヤホイール分解、点検、組付け。、シャシの点検調整法、CB400使用		
	6	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(6)	リヤアクスル及びリヤホイール分解、点検、組付け。、シャシの点検調整法、CB400使用		
	7	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(7)	リヤアクスル及びリヤホイール分解、点検、組付け。、シャシの点検調整法、CB400使用		
	8	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(8)	スイング・アーム、リヤ・サスペンションの種類(2本ショック、モノ・ショック)		
	9	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(9)	リンク式サスペンションの機構。リヤ・アクスル組付け、リヤ・ホイール・アライメント及びチェーン・アジャスタの調整法CB400使用		
	10	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(10)	リンク式サスペンションの機構。リヤ・アクスル組付け、リヤ・ホイール・アライメント及びチェーン・アジャスタの調整法CB400使用		
	11	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(11)	リンク式サスペンションの機構。リヤ・アクスル組付け、リヤ・ホイール・アライメント及びチェーン・アジャスタの調整法CB400使用		
	12	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(12)	フロント・アクスル分解、フロント・フォーク脱着。、ブレーキ本体分解、組付け。CB400使用		
	13	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(13)	フロント・アクスル分解、フロント・フォーク脱着。、ブレーキ本体分解、組付け。CB400使用		
	14	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(14)	フロント・アクスル分解、フロント・フォーク脱着。、ブレーキ本体分解、組付け。CB400使用		
15	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(15)	動力伝達装置概要、クラッチ、トランスミッション。クランク・シャフトからの動力伝達経路、ドッグ式ミッション。リターン、ロータリ・シフト・ドラムの機構。			

履修主題・履修内容	16	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(16)	動力伝達装置概要、クラッチ、トランスミッション。クランク・シャフトからの動力伝達経路、ドッグ式ミッション。リターン、ロータリ・シフト・ドラムの機構。
	17	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(17)	動力伝達装置概要、クラッチ、トランスミッション。クランク・シャフトからの動力伝達経路、ドッグ式ミッション。リターン、ロータリ・シフト・ドラムの機構。
	18	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(18)	点火装置(エキサイタ・コイル、マグネトー)
	19	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(19)	点火装置(エキサイタ・コイル、マグネトー)
	20	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(20)	問題演習(シャシ部分について、テキスト及び過去出題傾向のまとめ)
	21	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(21)	問題演習(シャシ部分について、テキスト及び過去出題傾向のまとめ)
	22	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(22)	動力伝達装置分解(クラッチ、トランスミッション)に伴う、エンジン分解。XJR400単体エンジン使用
	23	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(23)	動力伝達装置分解(クラッチ、トランスミッション)に伴う、エンジン分解。XJR400単体エンジン使用
	24	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(24)	動力伝達装置分解(クラッチ、トランスミッション)に伴う、エンジン分解。XJR400単体エンジン使用
	25	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(25)	クラッチ、点火装置、始動装置取外し。シリンダヘッド分解、シリンダ、ピストン取外し。潤滑装置取外し。トランスミッションケース分解。XJR400単体エンジン使用
	26	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(26)	クラッチ、点火装置、始動装置取外し。シリンダヘッド分解、シリンダ、ピストン取外し。潤滑装置取外し。トランスミッションケース分解。XJR400単体エンジン使用
	27	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(27)	クラッチ、点火装置、始動装置取外し。シリンダヘッド分解、シリンダ、ピストン取外し。潤滑装置取外し。トランスミッションケース分解。XJR400単体エンジン使用
	28	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(28)	クラッチ、点火装置、始動装置取外し。シリンダヘッド分解、シリンダ、ピストン取外し。潤滑装置取外し。トランスミッションケース分解。XJR400単体エンジン使用
	29	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(29)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	30	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(30)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	31	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(31)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	32	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(32)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	33	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(33)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	34	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(34)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	35	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(35)	動力伝達装置分解・組付け 動力伝達経路の確認、ロータリ式チェンジ構造機能、リターン式(テキストで説明)、スタータクラッチ構造機能 トランスミッション組付け、エンジン本体組付け(クランクシャフト、コンロッド、ピストン、シリンダ組付け)
	36	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(36)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
	37	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(37)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
	38	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(38)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
	39	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(39)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
	40	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(40)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
	41	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(41)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)
42	二輪自動車の概要、二輪自動車の分解点検作業(42)	エンジン本体組付け(シリンダヘッド、バルブ開閉機構)、カムシャフトチェーンのタイミング調整法(組付け手順)	
43	サイクル試験	学科試験	
44	サイクル試験	学科試験	
45	サイクル試験	実技試験	
46	サイクル試験	実技試験	

令和4年度

北海道自動車整備大学校

授業科目 (科目ID)	法令・検査 c00016		担当教員 (実務経験)	小笠原 悟・道場 祐樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回50分)	66回	時間数 66時間
授業目的	自動車は製造から廃車まで種々の法規制を受ける。特に安全、環境面での社会的ニーズも高く、それを保持する整備士としての心構え、社会的責任を理解し実践することを目的・目標とする。				
到達目標	授業で習った道路運送車両を説明できる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、出席状況、ファイル提出、小テスト等受講における意欲及び態度などを総合評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	法令教材26年度版、自動車整備関係法令と解説、道路運送車両の保安基準詳解、板書、OHP、プリント教材、「道路運送車両法」「保安基準」「検査基準」など自動車が公道を運行する基本要件です。国家試験の過去の出題問題、検査員の教習問題も併せて重要ポイントなのでしっかり学んでください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	法規制の概要、目的	道路運送車両法 道路交通法 自動車損害賠償保障法		
	2	関係法令	保管場所法 道路運送法		
	3	関係法令	保管場所法 道路運送法		
	4	関係法令	貨物自動車運送事業法 地方税 重量税		
	5	道路運送車両法	目的の解説		
	6	道路運送車両法	目的の解説		
	7	道路運送車両法 登録	登録の効力 登録の種別		
	8	道路運送車両法 登録	登録ファイル 軽検査との違い		
	9	道路運送車両法 登録	登録番号標 封印 車台刻印 塗まつ		
	10	道路運送車両法 保安基準	構造 装置 乗車定員 最大積載量		
	11	道路運送車両法 保安基準	構造 装置 乗車定員 最大積載量		
	12	道路運送車両法 点検及び整備	日常点検整備 定期点検整備 点検整備記録簿		
	13	道路運送車両法 点検及び整備	日常点検整備 定期点検整備 点検整備記録簿		
	14	道路運送車両法 点検及び整備	整備管理者 整備命令等 自動車整備士の技能検定		
15	道路運送車両法 検査等	自動車検査及び自動車検査証 検査実施の方法			

履修主題・履修内容	16	検査等	自動車検査証の備付け等 再交付 限定自動車検査証等
	17	自動車の整備事業	自動車分解整備事業の種類 認証 標識
	18	自動車の整備事業	自動車分解整備事業の種類 認証 標識
	19	自動車の整備事業	分解整備記録簿 遵守事項 事業の停止等 自動車検査員
	20	自動車の整備事業	分解整備記録簿 遵守事項 事業の停止等 自動車検査員
	21	自動車の整備事業	保安基準適合証 指定整備記録簿 自動車整備振興会
	22	自動車の整備事業	保安基準適合証 指定整備記録簿 自動車整備振興会
	23	雑則	検査対象軽自動車の使用の届出等 不正改造等の禁止
	24	雑則	検査対象軽自動車の使用の届出等 不正改造等の禁止
	25	道路運送車両法施行規則の別表	自動車の種別 検査の実施の方法 作業機械等
	26	道路運送車両法施行規則の別表	自動車の種別 検査の実施の方法 作業機械等
	27	自動車点検基準(抜粋)	日常点検基準 定期点検基準 別表1 別表2
	28	自動車点検基準(抜粋)	別表3 別表4 別表5
	29	自動車点検基準(抜粋)	別表3 別表4 別表5
	30	自動車点検基準(抜粋)	別表6 別表7
	31	自動車点検基準(抜粋)	別表6 別表7
	32	自動車点検基準(抜粋)	別表6 別表7
	33	中間試験	
	34	道路運送車両法の保安基準(抜粋)	道路運送車両の保安基準の細目を定める告示(定義)
	35	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	長さ、幅、高さ 最低地上高 車両総重量 軸重等
	36	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	安定性 最小回転半径
	37	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	走行 操縦 施錠 制動
	38	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	制動 緩衝
	39	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	緩衝 燃料 電気
	40	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	車枠及び車体 巻込防止装置
	41	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	突入防止装置 乗車装置
	42	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	運転者席 座席 座席ベルト 頭部後傾防止装置等
	43	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	運転者席 座席 座席ベルト 頭部後傾防止装置等
	44	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	窓ガラス 自動車の騒音防止装置
	45	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	前照灯

履修主題・履修内容	46	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	前部霧灯
	47	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	車幅灯
	48	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	側方灯及び側方反射器
	49	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	番号灯 尾灯
	50	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	後部反射器 大型後部射器
	51	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	制動灯
	52	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	補助制動灯 後退灯
	53	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	方向指示器 非常点滅表示灯
	54	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	その他の灯火の制限等
	55	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	その他の灯火の制限等
	56	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	警音器 非常信号用具
	57	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	盗難発生警報装置 後写鏡
	58	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	窓拭き 速度計
	59	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	消火器 運行記録計 速度表示装置
	60	道路運送車両法の保安基準(抜粋)自動車の保安基準	乗車定員及び最大積載量
	61	自動車NOx・PM法	概要
	62	自動車NOx・PM法	概要
	63	自動車NOx・PM法	概要
	64	これからの整備工場は	学生全員による討論
	65	これからの整備工場は	学生全員による討論 まとめ
66	定期試験		

